

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【公表番号】特表 2018-513875 (P2018-513875A)

【公表日】平成 30 年 5 月 31 日 (2018.5.31)

【年通号数】公開・登録公報 2018-020

【出願番号】特願 2017-555716 (P2017-555716)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/695 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/51 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 51/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/409 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/695

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 1/18

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 17/00

A 6 1 K 9/51

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 51/04 2 0 0

A 6 1 K 31/409

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 16 日 (2019.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

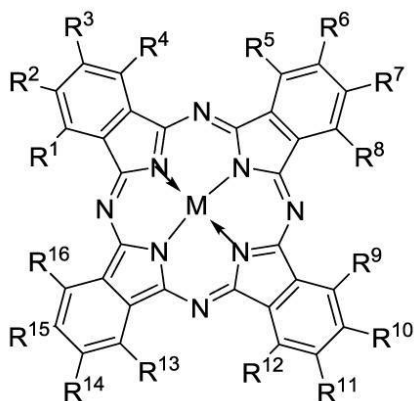
【請求項 1】

ポリマーを含むポリマーナノ粒子；及び

ポリマーナノ粒子内に封入される感光性化合物を含む組成物であって、

感光性化合物は、以下の式を有するフタロシアニン又はフタロシアニン誘導体であり、

## 【化 1】



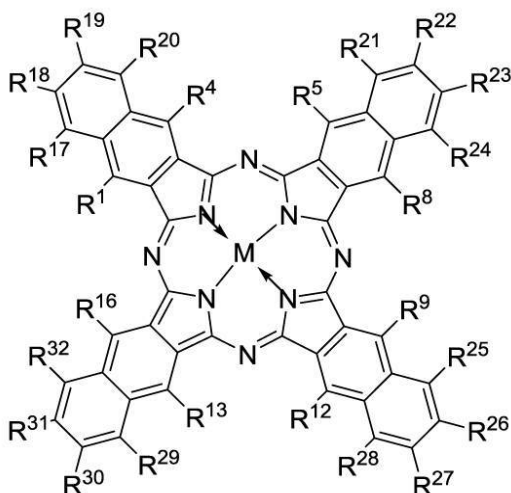
ここで、 $R^1 \sim R^{16}$  は、水素、ハロゲン、 $\text{NO}_2$ 、シアノ、アミノ、アミノカルボニル、アミノスルホニル、カルボキシル、カルボキシルエステル、脂肪族、ヘテロ脂肪族、アリール、アリールオキシ、アリールチオ、ヘテロアリール、ヘテロアリールオキシ又はヘテロアリールチオから独立して選択されるか、或いは任意の 2 つの隣接 R 基が一緒になってアリール、ヘテロアリール、シクロアルキル又はヘテロシクロアルキル環を形成し、及び

M は、場合によって 1 つ以上の疎水基で置換されている  $\text{Si}(\text{OH})_2$  である、上記組成物。

## 【請求項 2】

フタロシアニン誘導体は、以下の式を有するナフタロシアニンであり、

## 【化 2】



ここで、 $R^{17} \sim R^{32}$  は、水素、ハロゲン、 $\text{NO}_2$ 、シアノ、アミノ、アミノカルボニル、アミノスルホニル、カルボキシル、カルボキシルエステル、脂肪族、ヘテロ脂肪族、アリール、アリールオキシ、アリールチオ、ヘテロアリール、ヘテロアリールオキシ又はヘテロアリールチオから選択されるか、或いは任意の 2 つの隣接 R 基が一緒になってアリール、ヘテロアリール、シクロアルキル又はヘテロシクロアルキル環を形成する、請求項 1 に記載の組成物。

## 【請求項 3】

$R^1$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^8$ 、 $R^9$ 、 $R^{12}$ 、 $R^{13}$  及び  $R^{16} \sim R^{32}$  は、全て水素である、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

## 【請求項 4】

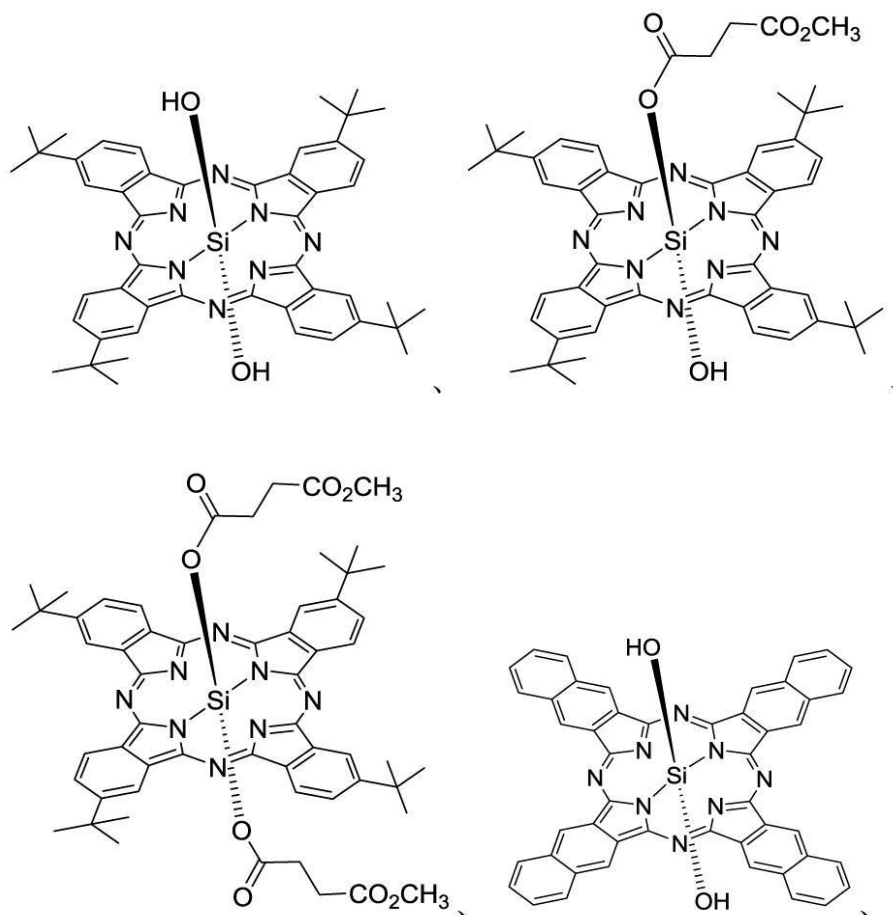
M は、ケイ素ビス(トリヘキシルシリルオキシド)、ヒドロキシシリルメチルコハク酸

又はジメチルオ，オ' - シランジイルジコハク酸である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

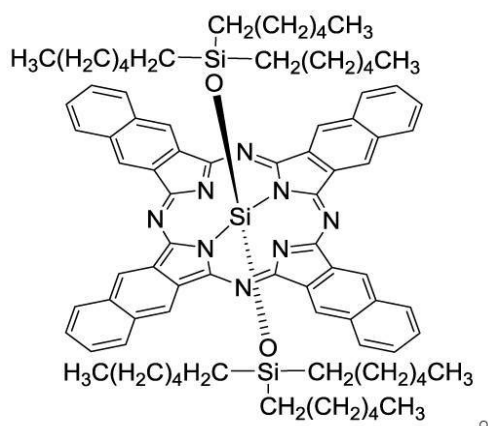
感光性化合物は、以下から選択される、請求項 1 に記載の組成物

【化 3】



又は

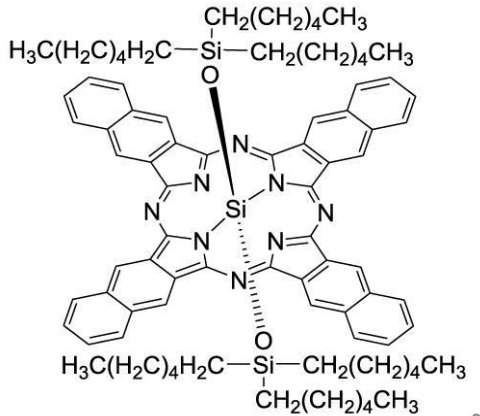
【化 4】



【請求項 6】

感光性化合物は、以下である、請求項 1 に記載の組成物

## 【化 5】



## 【請求項 7】

ポリマーが、ポリエチレングリコール - ブロック - ポリカプロラクトン ( P E G - b - P C L )、メトキシポリエチレングリコール - ブロック - ポリカプロラクトン ( m P E G - b - P C L )、又はポリエチレングリコール - ブロック - ポリバレロラクトン ( P E G - b - P V L )である、請求項 1 に記載の組成物。

## 【請求項 8】

ポリマーが、m P E G - b - P C Lである、請求項 7 に記載の組成物。

## 【請求項 9】

感光性化合物が、0 . 0 1 m g / m L ~ 2 . 0 m g / m Lの濃度でナノ粒子に充填される、請求項 1 に記載の組成物。

## 【請求項 10】

感光性化合物が、0 . 0 5 m g / m L ~ 0 . 3 m g / m Lの濃度でナノ粒子に充填される、請求項 9 に記載の組成物。

## 【請求項 11】

感光性化合物が、0 . 4 m g / m L ~ 1 m g / m Lの濃度でナノ粒子に充填される、請求項 9 に記載の組成物。

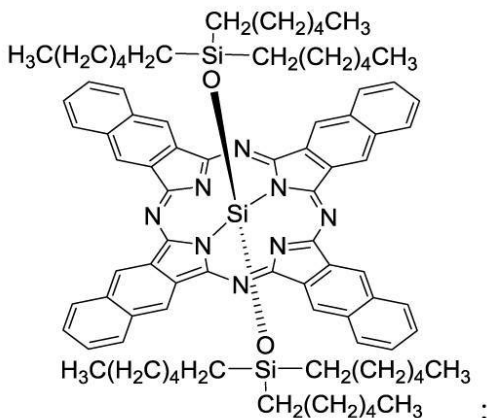
## 【請求項 12】

ポリマーは、1 3 , 0 0 0 D a ~ 2 0 , 0 0 0 D aの平均分子量を有する、請求項 1 に記載の組成物。

## 【請求項 13】

光感作化合物は、以下であり

## 【化 6】



及び

ポリマーは、約 1 5 , 0 0 0 D aの平均分子量を有する m P E G - b - P C Lである、

請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 1 4】

請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の組成物、及び薬学的に許容可能な添加剤を含む、医薬品。

【請求項 1 5】

がんの治療及び / 又は診断に使用するための、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の組成物、又は請求項 1 4 に記載の医薬品。

【請求項 1 6】

がんが、卵巣がん、乳がん、前立腺がん、膵臓がん、頭頸部がん、肝臓がん、又は皮膚黒色腫である、請求項 1 5 に記載の組成物。

【請求項 1 7】

治療又は診断方法において使用するための、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の組成物。